



2024年10月29日

各位

会社名株式会社 A i m i n g
代表者名代表取締役社長 椎葉 忠志
(コード番号: 3911 東証グロース)
問合せ先取締役 経営管理部 田村 紀貴
ディビジョンディレクター
(E-mail: ir@aiming-inc.com)

2024年12月期第3四半期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2024年7月30日に公表いたしました2024年12月期第3四半期（2024年1月1日～2024年9月30日）の連結業績予想と実績を比較し、下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年12月期第3四半期（2024年1月1日～2024年9月30日）の連結業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円				円 銭
予想値 (A)	13,634	△229	△420	△464	△9.95
実績値 (B)	11,774	△1,303	△1,032	△971	△21.55
増減額 (B-A)	△1,859	△1,074	△612	△507	—
増減率 (%)	△13.6%	—	—	—	—
(参考) 前年同四半期実績 (2023年12月期第3四半 期)	13,822	△251	△118	△1,109	△27.67

2. 差異の理由

2024年7月30日公表の2024年12月期第3四半期（2024年1月1日～2024年9月30日）の連結業績予想は、売上高においては、『ドラゴンクエストタクト』4周年イベントや『2.5次元の誘惑（リリサ）天使たちのステージ（以下「リリステ」）』のサービス開始があることから、増加する見込みとしました。加えて、『WIND BREAKER 不良たちの英雄譚』（以下、「ウィンヒロ」）について非連結の製作委員会が組成されることから、当該非連結製作委員会からの受託売上および製作委員会内に生じる費用を営業外損失として連結処理にて取り込むことを見込んでおりました。また、費用面においては、『リリステ』の事前登録開始に伴う仕掛品計上により減少する一方で、サービス開始時の広告宣伝費の投下や新規タイトルの開発進捗に伴う人件費や業務委託費により増加する見込みとしました。その結果、親会社株主に帰属する四

半期純利益は、前年同四半期比（2023年12月期第3四半期親会社株主に帰属する四半期純損失1,109百万円）で増益予想（2024年12月期第3四半期親会社株主に帰属する四半期純損失464百万円）としておりました。

この度、2024年12月期第3四半期において、連結予想値と実績値の差異が生じたのは、配信を開始した『リリステ』の売上高が見込みに対して8億円を超える未達となったためであります。加えて、上記に記載したウィンヒロ制作委員会の組成における他出資者との契約締結が遅延したことにより、予定しておりました受託売上高約10億円、および制作委員会内に生じる費用の連結処理の取り込み額として持分法による投資損失約4億円が後ろ倒しとなりました。なお、当該受託売上高および投資損失額については、翌四半期に計上を予定しております。

このため、売上高は予想値に対して1,859百万円、営業利益は1,074百万円、経常利益は612百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は507百万円それぞれ下回ることとなりました。

以上